

新年明けましておめでとうございます。 **た**、この言葉を胸に刻み、共に進みましょう。 金剛禪総本山少林寺代表

浦田武尚



今こそ、少林寺拳法が役立てるとき 現代社会において いちばん大切な護身術は、生きる力、



少林寺拳法師家 第二世

宗 道臣

を受け、現在、活躍している方が、全 若者を奮い立たせたのです。その言葉 負って立つのは君たちだ」と語りかけ、 22)年、戦後の日本で創始されて以来、 のが、少林寺拳法です。 1947(昭和 は社会に役立つ人を育成しようと決心 しました。そして、「将来の日本を背 や希望を持てないでいたときに、開祖 貫してそこにこだわってきました。 敗戦後、日本人が自信をなくし、夢

> 国に、世界にたくさんいます。 在では、人々を取り巻く環境や社会が 亡くなって30年がたち、開創当時と現 くり守ってきました。しかし、開祖が 志に共鳴した方たちが、この組織をつ 開祖の志が少林寺拳法を生み、その

変わっています。

持つことを面倒だと思う人も増えてい とに疲れ、精神的に深い悩みを抱えて いる人が増えているように思います。 会問題に表れているように、生きるこ 人が集まることを嫌い、人と関わりを 親が子を、子が親を殺すといった事 増え続ける自殺者、さまざまな社

教えと技法と教育システムを備えたも

「人づくり」を目的とし、そのための

にさいなまれていることがよくあるよ い、思いやる関係は薄くなり、孤独感 して、実は互いが関心を持ち、助け合 などでつながっているかのように錯覚 情報化社会の中で、インターネット

うです。

を教えなければならないのが今ではな ばらしさを伝え、人として生きること うこと、手を取り合って温かみを感じ いでしょうか。 ること、助け合い、頼られることのす そういう人たちに、人と人が向き合

生きる力、これを養うことだと思いま においていちばん大切な護身術とは、 大きいと考えます。 す。生きる力を養うことのできる少林 寺拳法が、現代社会に果たせる役割は 少林寺拳法は護身術です。今、現代

り組んでいきたいと思います。 同じくする道院長の方々とともに、取 個性を社会に役立てていきたい。志を 林寺拳法は自立した組織として、その 今を生きている私たちの使命です。少 活用するのか。それを考えることが、 少林寺拳法を、現代社会の中でどう

・道院長研修会・

組織の原動力道院長の情熱こそ

織機構改革」について理解を深めた。長研修会が本山で開催された。全国約2000人の道院長が、「組11月8、9日の第1次を皮切りに、毎週末、4回にわたって道院

名(平成20)年12月1日に施行される8(平成20)年12月1日に施行されるとをきっかけに、少林寺拳法グループでは、組織全体の見直しと、組織内プでは、組織全体の見直しと、組織内プでは、組織全体の見直しと、組織内プでは、組織全体の見直しと、組織内の風土改革について検討を重ねてきた。今回は、その組織改革に着手するた。今回は、その組織改革に着手するた。今回は、その組織改革に着手するた。今回は、その組織改革に着手する最初の研修全日程の進行を田村明宗務間の研修全日程の進行を田村明宗務間の研修全日程の進行を田村明宗務間の研修全日程の進行を田村明宗務にあると、双方向でのやり取りを取り入れるなど、双方向でのやり取りを取り入れるなど、双方向でのやり取りを取り入れるなど、双方向でのやり取りを取り入れるなど、双方向でのやり取りを取り入れるなど、双方向でのやり取りを取り入れるなど、双方向でのやり取りを取りませばいる。

研修会は、DVD「少林寺拳法解体研修会は、DVD「少林寺拳法の原点である開祖の志を、全員で確識することから始まった。続いて宗由遺少林寺拳法グループ総裁から、「組機構改革について」の講義が行われた。総裁は、開祖の、子を思う親の気た。総裁は、開祖の、子を思う親の気た。総裁は、開祖の、子を思う親の気た。総裁は、開祖の、子を思う親の気た。総裁は、開祖の、子を思う親の気に対応した組織として、社会の変化に対応していくことの重要性を強く訴えた。

班別討議は、「2009年、開祖の志

法人の役員が回答を行った。

4班から、 代ごとに分かれており、各世代の代表 変化という客観的事実がある。 後、受講者から寄せられた質疑に、各 を受け付け、初日の日程を終了した。 各法人の役割、法令順守、コース制に 語り合われていた。なお、 めるのか、道院長の思いや行動が熱く 流れと現状のギャップをどのように埋 なり、拳士数の減少や人々の価値観の 行われた。道院長の平均年齢が57歳と をしなくてはならないか」をテーマに ついてなどの説明があり、最後に質疑 を現代に生かすには、指導者として何 2日目は、本山・本部からの報告の その後、グランドデザインの説明と 討議結果発表が行われた。 班編成は年

に係っている」と締めくくられた。 進していくのは、道院長の誠意と情熱 昔も今も変わってはいない。これを推 寺代表から、「人づくりという原点は



担当/山下真由美

2008年度特別講習会

手礼のつながり出会い、 n

たって、 では、「少林寺拳法創始の目的 開催された。受講者数は90人。 の熱意が体の芯まで伝わりまし 投げかけられた。「宗由貴総裁 会の役に立てることを、 寺拳法グループ総裁による講義 この発表を受けて、宗由貴少林 目的と修行の楽しさ」をテーマ 用法のつながり」をキーワード 部部長が、 技術修練では、 は有意義な感想をいただいた。 われました」など、 た」「総裁の話が聞けて、 <u>ا</u> ک 人ひとりに考えていただきた 今、少林寺拳法を通じて社 班別討議と発表を行った。 修練における要点を楽しく |月11~12日の2日間にわ 続いて、 受講者へ新たな課題 本山で特別講習会が 「法形から演武、 「少林寺拳法の 川島一浩宗務 受講者から 皆さん 心が洗 運

飯野貴嗣

本山達磨祭

来場者でにぎわう 3 00人の

達磨祭が開催された。 10月12日、 秋空の下、 浦田武尚 本山で

> 不撓不屈、七転び八起きの精神の方々が見てる。 を発表した。 拳士たちが日ごろの修練の成果 続く演武会では、120人の で精進することを誓い合った。 ご臨席いただいた多くのご来賓 代表が導師を務めた法要では、

なった。 方々に楽しんでいただく一日と も同時に開催され、 園高等部による手作りの禅林祭 達磨祭を盛り上げ、 が地元の名産品などを出店して 内外から12を数える道院・支部 法要、演武会のほかにも、 また禅林学 飯野貴嗣 ご来場の 県

魂

和歌山県教区 ◇各地の達磨祭

達磨祭が執り行われました。 師を務め、 小笠原國勝和歌山県教区長が導 と拳士約30人が集まりました。 歌山東道院には、 磨祭が行われ、 午後4時から、 和歌山県教区では、 厳粛な雰囲気の下、 会場となった和 約2週間早い達 県内の道院長 9 月 28 日

ぐ私たちがなさねばならぬこ 林寺を開基された経緯、 宗道臣禅師が金剛禅総本 和・ 式次第に従い、 達 導師法話が行われ、「祖 磨大師の思い、 祭詞奉読などが行われ 献香・ 開祖 法を継 教典 山

されていることを感謝できる牛 いたしました。 き方」などについて話されまし 高松木太道院 われ、約1時間で達磨祭は終了 士と原拳士による奉納演武が行 最後に田辺西道院の山本拳 ダーマ信仰の重要性、 (田渕昭典)

拳士のほか、 加して盛大に行われました。 方々を含めて、 10月4日、 少年部拳士と一 保護者や家族 約140人が参

法話、 を受けるとともに、道院長が保 ところ、出席者から盛大な拍手 門の白帯拳士から有段者まで拳 れました。奉納演武では、新入 ふれる演武や運用法を披露した 士全員が日ごろ修練した気迫あ 行、 式典は、 奉納演武の順に執り行わ 祭詞奉読、 約2時間にわたり鎮 献香、道院長



護者に対し、 の修行状況を説明しました。

小野道院

設立 40 周 年記念演 武

賓挨拶と祝電披露の後、 鎮魂行に続いて奉納演武、

らしい組演武も披露していただ を行いました。少年部と一般部 も挑戦しました。 せ(スポーツギネス〇N〇)に 参加拳士の皆で1分間拳立て伏 きました。全員の演武発表後 の間には、招待演武としてすば の拳士全員が単独演武と組演武 本演練を行い、 少年部・一般部 全体基

努めていきたいと思います。 小野道院と少林寺拳法の発展に 道院の拳士全員が一丸となって るといえます。これからも小野 少林寺拳法の歴史の一部でもあ た小野道院の40年の歴史は、 植田眞一道院長によって開か

賀内重善

紋別東道院

通安全運 秋の輸送繁忙 動 協期 力の

紋別市から「秋の輸送繁忙期

くれました。

(西川富美雄

コして「頑張ってね」と励まして しました。ドライバーもニコニ 少年拳士のふだん

(三宅正章

記念演武会が開催されました。 合体育館で小野道院設立40周 10月5日、兵庫県の小野市 来

あり、 車場で開始されました。 道365号線,紋別スキー場 16 ロード作戦を行いました。 0 交通安全運動」の 16時15分から45分間、 少林寺拳法セーフテ 協力依頼 10 駐 玉 月 イ

ぱい振っていました。また、 りの中、 スコットの無事カエルなどを 少林寺拳法のコンセプトシー シートベルト着用を呼びかけ、 士たちは大きな声で交通安全と 旗を保護者と少年拳士が力い る車に向かい大きな交通安全 い紅葉とオホーツク海の潮 保護者10人、総人数30人で美し 紋別東道院の少年拳士20 冬道安全ガイドブック、 次々と警察官の誘導す 人 拳 マ 0

文/須田 剛

身を整え

心の清澄を図る

ることは大切だ。が、私たちは するからには使う人を思いやっ の一つとして行じている。清掃 そう私たちは考える。だから、 :務は身心一如の大切な修行 修行」は身体の錬磨を通じ 美しくする技術を身につけ 精神を訓練し高めるもの。

として生き抜くかを問い、 限られた人生をいかに霊止の人 得が修行の第一の目的ではない 少林寺拳法においてもまたそう ることのできる人間になること、 に足る自己を育て他人を思いや 己の身体が滅びるときに、私は しているとは思ってはいない。 ではないだろうか。拳の技法習 人間完成を目的に修行している。 金剛禅の主行である易筋行 えてくるように思われた。 かけとともに、そんな声が聞る

れる。本山と同じく、道院にお てか、学生の作務が静かに行わ ガクヨウニ 一生懸命ベン器ヲ ときを得たことへ感謝の行。 あり、修練後の作務は、修行の 修行の環境を自らつくる修行で 行われる。修練に先立つ作務は いても鎮魂行に先立って作務が フキマショウ」。その声を受け かな声が聞こえる。 本山 廊から剃髪の教員の穏 「心ヲミ

ることがないではないか。 剛禅総本山少林寺の修行目的 身心一如の人間のありようを表 なければスポーツや武道と変わ =少林寺拳法がある。しかし金 ための優れた行法として易筋行 変わりえたことを身を以て知る に戻り、我欲を抑え、人はよく と先入観から離れるために身体 する特異性も示している。偏見 すと同時に他宗門の修行法に対 少林寺拳法の第一の特徴は 一流派をつくったのではない 一如であるが、このことは 若き学僧の作務への呼び

1

清掃の技術の修得を目的に修行

て行じているように思う よく生きた、と言える生を求め

戒・定・慧の三学がある。 ちは、そうした身心一如という 身を整え心の清澄を図る。私た がなければ自分はない。だから、 感じ、思考し、思い悩む。身体 し、自分の願望に乱されず苦悩 偏見や先入観を捨て正しく思念 を戒め我欲を抑え、姿勢を整え 慧を得る。人は身体の諸器官で を克服し人生を正しく生きる智 仏教独自の修行体系として

人間観に立って行じている。

るんじゃないぞ。人類の幸せの

見てくれ。陰と陽とがある。一

て成り立っている。仁王さんを

我々は拳法の先生を養成しと

ために役立つ人間をつくりたい

開祖語録 ダイジェスト

1970年3月

ら、それは拝む宗教とか、 考えてくれ。宇宙は、すべて相 禅運動は、一つの調和の教えと 手段、方法、つまり我々の金剛 てきれないからです。 の宗教に引きずられた考えを捨 与える宗教とか、要するに過去 感じている人がもしいるとした 対立するもの二つの調和によっ 求めてきた人間の幸せを求める 義も共産主義も嫌いだ。我々が 金剛禅運動が、宗教臭いと 私ははっきり言って、 抹香臭いとか、何か抵抗を 資本主 罰を

ス。対立しながら調和してる。

だから金剛禅は、

るんだなあ。

おい、わからんような顔する

これが調和したときに幸せがあ

たいなもんだ。出っ張ったの

引っ込んだのとある(笑)。

は口をつぐんでいる。男と女み 方は口を開けている。もう一方 大学少林寺拳法部 指導者講習会より

対立しながら調和する そのとき幸せがある



うと。少林寺くらい人間尊重を 間を基礎にして、まず一人ひと な。みんなわかってるはずだよ れでこの社会を何とかしていこ なあ。陰と陽。プラスとマイナ あくまで人 ※この開祖語録中の「少林寺」は。金剛禅総本山少林寺を意味しています

りの人間を大切にしようと。

説いている宗教はほかにない

2008年10月度 認証

***	=n.

つくばみなみ道院 石塚 英樹 後戸 文春 堺初芝道院 能本菊陽道院 山本 重光 栄村 薫 吉野 雅文 福井新田塚道院 播磨南道院 沖縄南山道院 春名 政樹 竹森 章人

三好北部道院 武田 嘉三 川西西部道院 知多新田道院 中嶋 章保 讃岐白鳥道院 田中 豊

八王子散田道院 谷合 浩一 北駿小山道院 東学 伸一 白浜道院 谷本 義文 牧田 修一 あわら泉都道院 木曽川道院 加藤 伸弘 児島道院 永田 浩司 松本中部道院 谷川 秀人 名古屋桜道院 西山 和男 **倉敷福田道院** 達野 晃一 羽島北道院 水野 雅夫 一宮中部道院 北川 博康 美作林野道院 鷹取 孝至

駿東清水道院 北村 光之進 西陣北陵道院 久保 周三 山田 恵修 清水中部道院 神崎道院 麻生 信義

僧階昇任者

少法師

2008年11月24日付

松木 長曹(鷺沼道院) 黒澤 正興(横浜慈眼寺道院) 青島 勉(静岡三島道院) 須部 茂樹(浜松都田道院)

中道師

■2008年10月26日付

牧田 修一(あわら泉都道院)

谷川 秀人(松本中部道院) 東学 伸一(北駿小山道院) 山田 恵修(清水中部道院)

北村 光之進(駿東清水道院) 中嶋 章保(知多新田道院) 西山 和男(名古屋桜道院)

久保 周三(西陣北陵道院)

後戸 文春(堺初芝道院)

竹森 章人(川西西部道院) 吉野 雅文(播磨南道院)

谷本 義文(白浜道院)

達野 晃一(倉敷福田道院) 永田 浩司(児島道院)

田中 豊(讃岐白鳥道院) 春名 政樹(沖縄南山道院)

■2008年12月1日付

上代 裕幸(札幌豊平道院) 秋葉 みどり(東海加木屋道院) 村田 素彦(加古川米田道院) 森田 典秀(鳥取浜坂道院) 神野 敏(南予伊方道院) 西村 文次郎(諫早南道院)

お布施

お布施

▷都城妻ケ丘道院 竹之下 ゆう子 10,000円 ▷都城城北道院 小玉 隆史 ▷小野道院 植田 眞一 40.000円 10,000円 ▷須磨道院 中山 満洲雄 30,000円 金剛禅総本山少林寺改修基金 ▷会津猪苗代道院 田中 勝義 10,000円 ▷大館三ノ丸道院 小林 佳久 100,000円 ▷都城いずみ道院 小玉 忠宏 ▷大阪旭道院 佐藤 定義 30,000円 10,000円

【僧籍編入/少導師・権中導師・権大導師補任日の変更】

僧階有資格者の増加をねらい、2009年度から「僧籍編入」/「少 導師」・「権中導師」・「権大導師」の補任日の規定を変更し、施行 します。

2008 年度まで

出願期間 毎年2月末日締め切り (1月10日受付開始)

補任日

4月1日(年1回)

2009 年度から

随時受付 4月1日

8月1日 12月1日(年3回)

【道院長資格認定研修会の受講条件】

道院長資格認定研修会の受講条件は、これまでどおり、少導師・ 正拳士・四段以上での受講が可能となっております。

【達磨祭法要『祭詞』、開祖忌法要『表白文』、巻物の下賜】

この度、道院で執り行われる年中行事に使用いたします、達磨 祭法要『祭詞』ならびに開祖忌法要『表白文』の巻物を、新たに下賜 することにいたしました。これまで、『祭詞』および『表白文』とも に、各道院でそれぞれにご用意いただいておりましたが、年中行 事として毎回使用するものですので、巻物として製作いたしまし た。おのおの6,000円の寄付金額で下賜させていただきます。

【教区研修会の実施】

2008年度は、これまで、福岡県教区、三重県教区で研修会を開 催いたしました。また現在、広島県教区、埼玉県教区、千葉県教 区からも研修会の開催が申請されております。地域の道院長が一 堂に会すことによって、組織の方向性を互いに確認し合い、また 教義や技術を深め、指導者としての資質の向上を図り、互いに協 力関係を築く場として、積極的に研修会を開催していただきます よう、お願いいたします。

【オフィシャル・ウェブ・サイト】

少林寺拳法オフィシャル・ウェブ・サイトでは、2008年8月よ り、2週間に1回の更新で浦田武尚代表のメッセージをご紹介し ております。ぜひ、ご閲覧ください。

1月度行事

10日(土) 都道府県教区長会議、表彰式、新春指導者のつどい

11日(日) 新春法会、稽古始め

25日(日) 定例昇格考試

2月度行事

22日(日) 定例昇格考試、認証式、帰山

※2~3月にかけて、考試員・審判員講習会(地方)を開催。



宗務局長 田村 明

疾風に勁草を知る



れても、 とうとする。 る言葉である るのだ」これは後漢書に出てく 日にこそ勁草の真価が発揮され うが、強い草は吹かれても吹か は地べたに這いつくばってしま 度疾風が吹き荒れると、 草も区別がつかない。だが、 穏やかな日には強い草も弱 我々は学歴社会の中に生きて 頭を上げてまっすぐ立 疾風の吹き荒れる 弱い草

いち

一勁草とは強い草である。

風

という故事を見たとき、 うな世界ではなく、自分を見つ 弱い人間が多くなってきている こにダブり、頭でっかちで心の に自己確立の金剛禅の教えが思 つ人間を。 して、いざというときに役に立 る人間を育てる世界である。そ して可能性を信じることができ め自分を知ろうとする人間、そ 拳法の求めているのは、このよ かもしれない。ところが少林寺 出された。 「疾風に勁草を知る ・真っ先

PL

当たり前に、

他人を気遣ってい

けでもないのに、小学生の子も

りしている。誰に指示されたわを指差しながら一緒に唱和した

小さい子だと、読んでいる個所

行って読本を貸したり、

、相手が

ころに、気づいた子がさっと を持っていない新入門の子のと

鎮魂行では、まだ読本や教典

声をかけて仲直りができた。 勇気をもらい、自分から友達に

私 の居場所

ることに感動させられ

また「本当の強さはどんなと

いる、また甘えの構造も更にこ

いち

るからだ。 の足は稽古に向かうときに軽快 学校で嫌なことがあっても、 ろう。どんなに疲れていても、 り体を動かす。何て爽快なのだ になる。そこに私の居場所があ 流れる汗も気にせず思いっき 私

校で友達に誤解され落ち込んで

つも私を勇気づけてくれる。学 鎮魂行の後に聞く先生の話は きにも優しさを貫くこと」など、

いたときも、

先生の話を聞いて

変えてくれた。休憩時間に小さ 院・安藤柚美香・16 えたいと思う。 下がる。今度は私がこの子たち い子たちが私の手を握ってぶら 自信を持って行動できる人間に に「本当の強さ、 心感は、人見知りだった私を、 自分の居場所があるという安 (春日井鷹来首 優しさ」を伝

イラスト

大原由軌子

投稿大募集 道場や拳士のちょっといい話を募集しています。 ※ペンネーム可ですが、必ず、名前、所属、連絡先もご記入くだ さい。なお、原稿内容の整理・編集をさせていただく場合があり ます。原稿の選択はご一任ください。〒170-0004 東京都豊島区 北大塚2-17-5 東京別院 広報誌担当宛 TEL.03-5961-1400 FAX.03-5961-1401 e-mail: aun@shorinjikempo.or.jp

事務局紹介

見える

事務管理部業務課 係長 国富佑治、松岡愛 (2008.10月現在)

私たちの業務は主に、基幹事務シス テムの運用とパソコンでの事務手続き の推進です。

道院長の皆様の、煩雑な事務手続き に関する負担を少しでも減らし、お 役に立てるよう、「努力・根性・氣合、 そしてやる氣」を合言葉に、日々業務 に励んでいます。

先生方や拳士の皆様から、「ありが とう」「便利になったよ」と言っていた だいたときは、疲れも吹き飛び、体中 に気力が満ちてきます。

パソコンで事務手続きをされていな い道院長の皆様、わからないことは遠 慮なくご相談ください。お申し込みを お待ちいたしております。





Rakan ken, Sodemaki gaeshi らかんけん そでまきがえし 羅漢拳 袖巻返

宗門の行としての少林寺拳法

相手は袖を下から握り、引いてくる。我は、相手の引く力に合わせて、身体を寄せながら腰を切り、脇を絞って鈎手守法の体勢になる。反対の手は状況に応じて、防御、当身を行ったあと、引き込むように押小手の要領で掛ける。握られているほうの腕は掛手と協調させながら、内腕刀で相手の腕の外側から回して、手首を殺して体捌きで投げる。

撮影/近森千展 文/飯野貴嗣 演武者/守者:川島一浩 正範士七段 攻者:飯野貴嗣 大拳士六段



表紙 金本孔俊

アラスカ州クニック氷河上空にて。小型セスナ機で氷河へ降りる寸前に、偶然ムースと遭遇する。

【プロフィール】1954(昭和29)年、兵庫県生まれ。 94(平成6)年からアラスカでオーロラを撮影し、ライフワークとして情熱を注ぐ。神戸六甲道院、正拳士四段。http://www.studio-gold.com 編集後記▶人心の荒廃著しい昨今、相変わらず食品業界の偽装問題や自分の感情抑制のできない衝動殺傷事件。▶金剛禅運動による人間社会の改造を目指す我々拳士、目標のブレがあってはならない。▶道院長・部長・監督研修会を通じて思ったことは、少数精鋭もよいが多数精鋭による世直し、多くの仲間と連携して平和で豊かな理想境建設を目指したいものである。(あ)

発 行 人 : 浦田武尚 発 行 所 : 金剛禅総本山少林寺 〒764-8511 香川県仲多度郡多度津町本通 3 - 1 - 48 ☎0877-33-1010 http://www.shorinjikempo.or.jp 編 集 人 : 秋吉好美 企画・編集:金剛禅総本山少林寺東京別院 〒170-0004 東京都豊島区北大塚2 - 17 - 5 ☎03-5961-1400 e-mail aun@shorinjikempo.or.jp 金剛禅総本山少林寺広報誌「あ・うん」 2009年1月1日発行(奇数月1日発行)第 1 巻第2号 印刷・製本:㈱ブル・ドック ※本誌の発行に掛かる費用には、SHORINJI KEMPO UNITYによるライセンス事業の収益金が活用されています。

http://www.shorinjikempo.or.jp/aun/index.htmlでは、誌面に掲載仕切れなかった記事、動画などがご覧いただけます。

